



岡山大学

PRESS RELEASE

大学記者クラブ加盟各社 御中

平成20年12月18日
岡山大学

研究成果公表記者会見のご案内 (報道解禁 12月25日(木) 午前2:00)

環境学研究科の松浦健二准教授らの研究グループは、シロアリの卵に擬態して巢内に寄生するカビの一種「ターマイトボール」が、卵を認識するフェロモンを使ってシロアリの行動を操作していることを明らかにしました。

これは、シロアリの卵認識フェロモンの主成分を世界で初めて突き止め、ターマイトボールの化学擬態メカニズムを明らかにした研究です。

この発見によって、人工フェロモンを用いてシロアリを駆除できる新技術がいよいよ実現可能なものとなります。

この研究について、以下のとおり、記者会見でご説明させていただきますので、是非お集まりください。

<記者会見の概要>

日 時 12月19日(金) 14:00～
場 所 本部棟6階 第一会議室
発 表 者 松浦 健二 (環境学研究科 准教授)

<研究発表について>

発表雑誌 米国科学雑誌 Current Biology オンライン版(12月24日付け)
タイトル 「シロアリの卵に擬態する菌核菌はセルロース分解酵素β-グルコシダーゼで卵に化学擬態する」
Cuckoo fungus mimics termite eggs by producing the Cellulose-digesting enzyme β-glucosidase. Current Biology

【問い合わせ先】

岡山大学総務・企画部総務課広報係 吉田
電話086-251-7292
FAX 086-251-7294